

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	甲	第	号
------	---	---	---	---


氏 名 徳倉 達也


論 文 題 目


Reliability and Validity of the Japanese Version of BEMIB Modified for Patients With Bipolar Disorder: a Self-rating Scale for Medication Adherence

(双極性障害患者を対象とした BEMIB 修正日本語版の
信頼性と妥当性：服薬アドヒアランスの自己記入式評価尺度)

論文審査担当者

主 査 名古屋大学教授
委 員 小川 豊 昭 
名古屋大学教授

委 員 室原 豊 明 
名古屋大学教授

委 員 瀧嶋 信之 
名古屋大学教授

指導教授 尾崎 志之 

論文審査の結果の要旨

精神障害の服薬アドヒアランスは低いことが知られている。特に双極性障害においては、服薬アドヒアランスの低さとともに、それが予後に与える影響の大きさも指摘されている。服薬アドヒアランスを向上するためには、まずは服薬アドヒアランスを正確に評価する必要がある。その評価方法には自己記入式評価尺度が簡便かつ有用であるが、日本語で使用可能なものは限られている。海外では、the Brief Evaluation of Medication influences and Beliefs (BEMIB) や Drug Attitude Inventory-10 (DAI-10) という自己記入式評価尺度があるが、DAI-10 には服薬行動を評価できないという欠点もある。BEMIB は、原著版で信頼性と妥当性が証明されているが、日本語版は存在しない。

本研究では、精神障害患者の服薬アドヒアランスを簡便に評価できる日本語版自己記入式評価尺度の確立を目的として BEMIB 修正日本語版を作成し、外来双極性障害患者 41 名を対象に信頼性と妥当性の検証を行った。

本研究における新知見と意義は要約すると以下のとおりである。

1. 原著者の許諾を得て翻訳の一部に修正を加え、BEMIB 修正日本語版を作成することができた。
2. BEMIB の各質問項目および総得点におけるテストリテスト信頼性は、級内相関係数 0.63(0.33-0.75, $p < 0.001$) であり、十分な評価者内信頼性を有していた。
3. Cronback の α 係数は 0.73 であり、十分な内的信頼性を有していた。
4. BEMIB 修正日本語版の総得点と DAI-10 日本語版の総得点との間に有意な相関を認めており (ピアソン相関係数 0.39, $p < 0.001$)、十分な基準妥当性を有していた。

本研究は、精神障害患者の服薬アドヒアランスを日本語で簡便に評価するための新たな手法を確立しており、精神医学的治療に関する重要な手法および知見を提供した。

以上の理由により、本研究は博士 (医学) の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。